

当社の今までの取り組み

当社は実務実習生に対する**特別プログラムを
実施**している。

これは OTC の販売、経管栄養、ゲストティーチャー、災害地への派遣経験、学校薬剤師、在宅について等を総合的に1日で様々な業務、経験を伝える内容で、すでに実施している。



今回の狙い

調剤薬局に勤務する薬剤師は新卒者だけでなく、**多くの経験を持った**他業種からの**キャリア**採用の者もいる。さらに現在、当社に勤務しつつ兼任業務を行う者もいる。

薬局から離れたそれぞれのバックグラウンドを持つ者が会社にいるのであれば、それを実務実習生に対して薬剤師の世界がどの様なものか伝えるチャンスではなからうか？

その人材を**見出し、どの様に活用すればよいか****考察**する。

方法

当社の薬剤師に対し

- ① 薬剤師のできる業務
- ② 実際に兼業している業務
- ③ 過去に行っていた業務
- ④ それらの業務からどのように当社業務に作用しているか
- ⑤ 実施してみたい兼任業務種

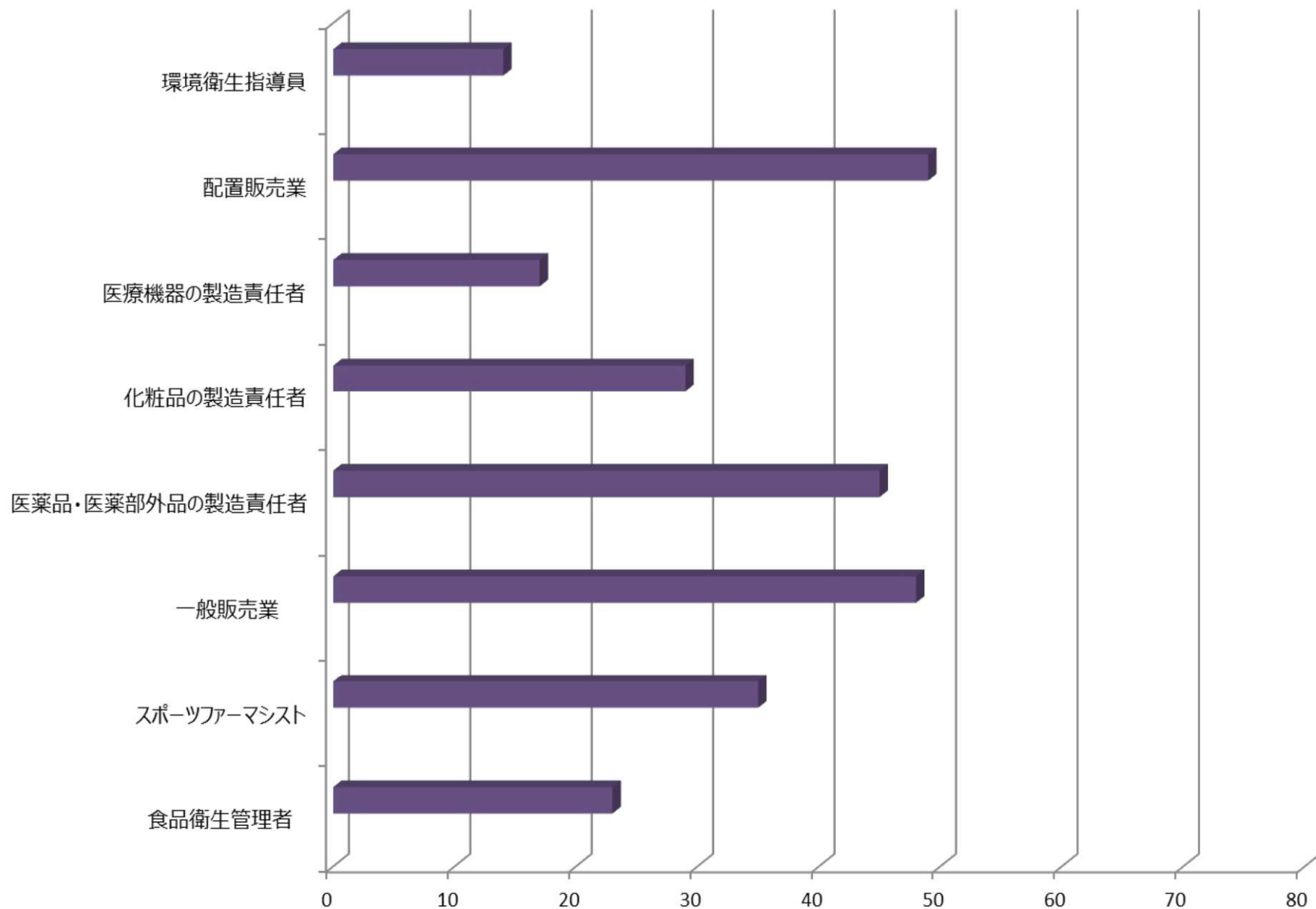
5項目を薬剤師
(249名中79名)
に対し調査

それぞれの回答数から実務実習生教育への活用について考察を実施した。

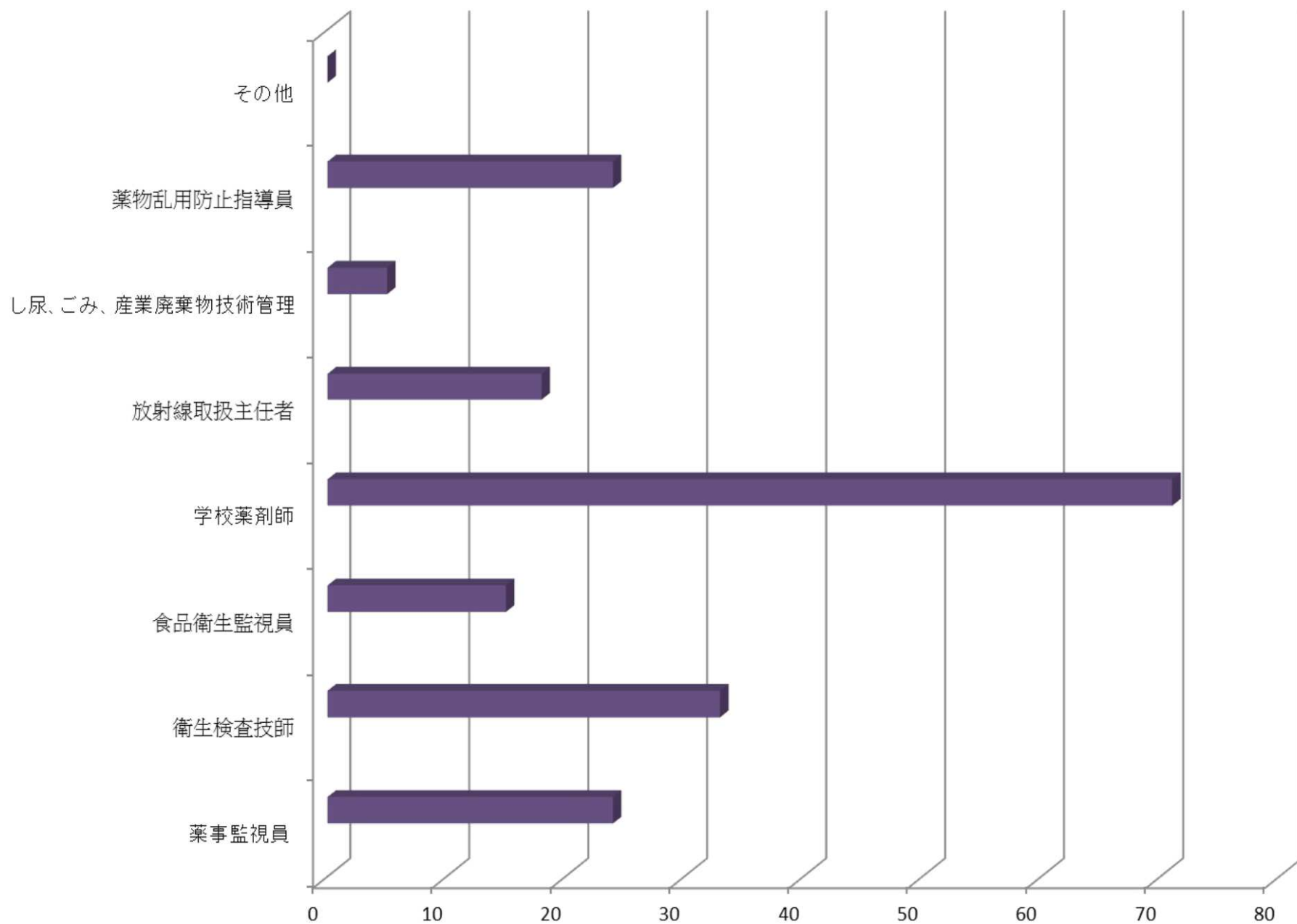
① 薬剤師のできる業務と認知数

薬剤師のできる業務	回答数(n=79)
食品衛生管理者	23
スポーツファーマシスト	35
一般販売業	48
医薬品・医薬部外品の製造責任者	45
化粧品の製造責任者	29
医療機器の製造責任者	17
配置販売業	49
環境衛生指導員	14
薬事監視員	24
衛生検査技師	33
食品衛生監視員	15
学校薬剤師	71
放射線取扱主任者	18
し尿、ごみ、産業廃棄物技術管理	5
薬物乱用防止指導員	24
その他	0

当社の薬剤師のできる業務の認識度（実数）



当社の薬剤師のできる業務の認識度（実数）



① 認知度から考察

社会に出て薬剤師としての経験を積んでいる者であっても、薬剤師のできる業務の認知度に偏りがあることが分かる。



学生側の**認知度**はこれより**低い**と推察される。

実習中に取り扱っている薬、社会制度を絡めつつ伝えることが出来るのではないかと考えられる

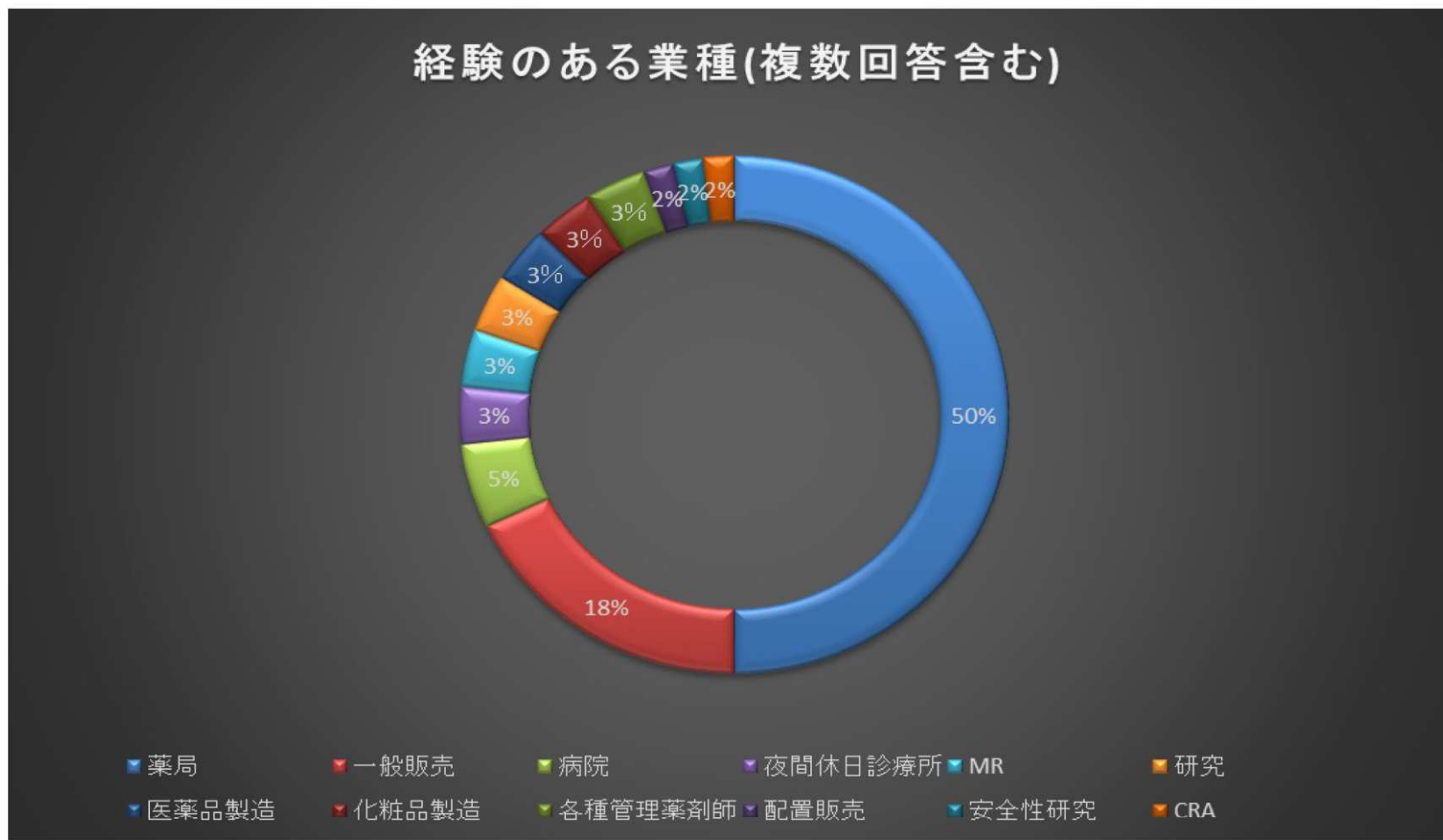
② 行っている兼任業務



兼任している業務	回答人数
学校薬剤師	2
夜間休日診療所	1
薬物乱用防止指導員	1
なし	75

③ 過去に行っていた業務

経験のある業種(複数回答含む)



経験のある業種	薬局	一般販売	病院	夜間休日診療所	MR	研究
回答件数	28	10	3	2	2	2
経験のある業種	医薬品製造	化粧品製造	各種管理薬剤師	配置販売	安全性研究	CRA
回答件数	2	2	2	1	1	1

②、③の結果からの考察

現在、アンケート回答者 79 名のうち 4 名が兼任業務についているが人数が少ない。それとは対照的に、過去に業務経験のある者は業種に偏りはあるものの多い。実務実習生に対して業務について伝えるにあたり、現在実施している者が伝えるのが説得力があるとは考えられる。

学生に対して必要な教育は、現在行われている業務内容よりも、その業務の**考え方・心構え・一般的な事柄の例示**であると考えられる。

ゆえに**過去の経験でも十分対応**しえるのではないかと考えられる。

④ 過去の業務経験から現在への作用



病院勤務経験により院内に知り合いがいるため、疑義しやすい。



OTC を取り扱っていたため商品名から主成分がすぐにわかる。



合成研究をしていたため、構造より薬理作用が予測できる。



現在の業務で精一杯・・・
がんばります。

④からの考察

経験により、得られるものは様々である。



医療機関との関係の大切さが現場にいる人間として察することができる。



患者様から質問されることが多い事項でそのまま生かしていることが考えられる。



学校で学んでいること、研究していることは生かされ、無駄で無いことが予測できる。



実務に対する素直な意見だと推測される。

→**薬局では過去の繋がり**・**経験が活かせる**ことを伝えることができる。

⑤ 行ってみたい業務（結果・考察）

挙げられた業務は**学校薬剤師**、**スポーツファーマシスト**であった。

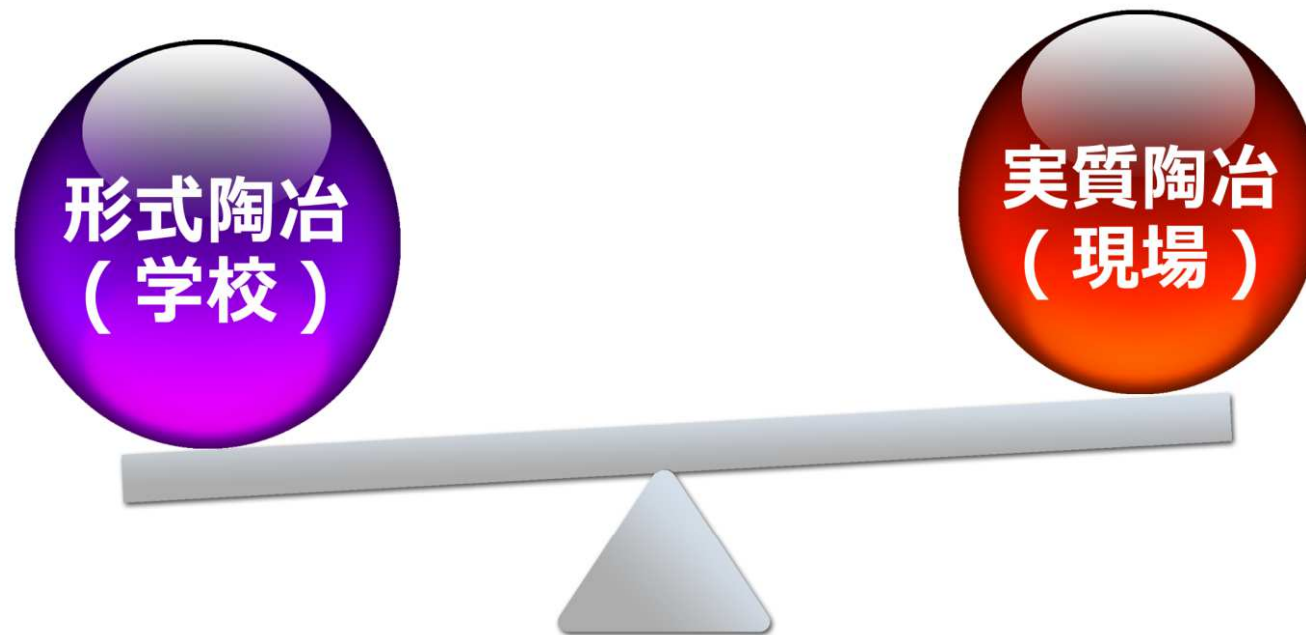
これらは当社が実施している特別プログラムのなかでも、学生が行ってみたいと答えているもので、当社の薬剤師の認知度も、比較的高かったものである。



それらのなり方や、現状を幅広く伝えるのも重要と考えられる。

実質陶冶の場としての薬局

現場において学習を目的としている実務実習の場は実質陶冶を実施する場である。大学では形式陶冶的傾向であるため現場での教育が必要不可欠である。



実質陶冶とは社会的に有用な知識や技能の習得に重点をおく実学主義的な教育の立場と定義されるもので、対義語は形式陶冶である。

総括

薬局実習とは**薬局業務**を実習生に伝えるものであるが、それだけでは**実習の意味がない**。

薬局という多種多様な**人材が集まる場所**において、社会に出る前に**教育を受ける**ことは多くの会社のインターンシップを受けるより**有意義なこと**と予測できる。

だがそれは**経験者たちが積極的に実習生にアプローチしていくしか方法はない**。

幸い**当社には特別プログラムがあり**今後そこに**人材を組み込むことで教育の幅は広がる**のではないかと推察できる。

資料及び謝辞

今回の発表にあたり使用したアンケートをアップロードしてあります。下のQRコードより入手してください。



なお今回のポスターデザイン作成は当社社員の薬剤師 西浦希さんの手によって行われました。最後になりましたがお礼申し上げます。